

スマートフォンやモバイルバッテリーの発熱発火に注意！

充電することにより繰り返し使えるリチウムイオン電池は、スマートフォンやモバイルバッテリーなどさまざまな機器で使用されています。小型にもかかわらず大容量のエネルギーを蓄えられる一方、取り扱い方法や商品によっては膨張したり発煙・発火した例も報告されています。

事例1 かばんにスマートフォンを入れて持ち歩いていたところ、突然スマートフォンが発火しかばんが焼け焦げた。

事例2 インターネット通販でモバイルバッテリーを購入。自宅で充電していたら、膨張して白い煙があがった。

- リチウムイオン電池を搭載したスマートフォンやモバイルバッテリーは、動画の再生や充電中に発熱する性質があります。カバンや布団の中など熱がこもる環境に置いておくと放熱が妨げられて高熱になることがあるので注意しましょう。発煙・発火しやけどを負ったり火災になった事例もあります。
- 充放電の繰り返しによる劣化や落下などの衝撃により、膨張することがあります。異常が見られた場合は使用を控えて交換・廃棄しましょう。
- リチウムイオン電池は電気用品安全法の規制対象です。製造・輸入事業者は法律に基づいた届出を行い、技術基準適合義務を果たしていることを証明するPSEマークを表示しなければ国内で販売することができません。
- 通販サイトで購入した、法律に適合していないリチウムイオン電池搭載商品による事故が報告されています。購入する際には、製造販売元や仕様・型式、PSEマークが表示されていることを確認しましょう。



経済産業省ウェブサイトより

